

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	004 シティプロモーション・関係人口創出拡大事業					
予算科目	01-020104-12 魅力発信事業に要する経費			担当部課	市長公室広報戦略課	
市長公約	11-2	84		係名	魅力発信係	
戦略プラン	I-4	2	1	つくばの魅力発信	新規・継続	新規
	I-4	2	2	関係人口の創出	事業分類	自治事務（任意）
	I-4	2	3	ふるさと納税のPR強化	事業体制	一部委託
個別計画					事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	16平和と公正をすべての人に
						17パートナーシップで目標を達成しよう

事業の概要

対象	市民、来訪者、市に縁のある方
目的	市内外に対してつくばの魅力を発信し、つくばに愛着を持つ人を増やす。
概要 (取組内容)	市の魅力的な取組や、地域で行っているイベント等を、市公式SNSを用いてPRする。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	8,656	2,901	2,872	2,872	
	決算額	(千円)	0	7,585	1,868	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	7,585	1,190	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	678	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	7,379	14,727	14,727	14,727	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	1.00	2.00	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	235.50	436.00	436.00	436.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	HPやSNSでの情報発信
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	市公式SNSへの「市の先駆的な取組や地域のイベント等」の投稿数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	60.0	62.0	64.0	66.0	68.0
	実績	58.0	121.0	94.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	当該年度における市公式SNSへの投稿数。H30年度からR1年度における市公式SNSへの投稿数の増加率1%を踏まえ、毎年約3%増を目標とする。(R1年度591件÷H30年度587件=1.0068≒1%)						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	市の魅力的な取組等の様子をSNS等で配信するため、広報推進監を配置し、年間を通じて実地体験等による課内OJTを実施することで、動画制作やオンライン配信に必要な知識や技術等を習得した。	
成果	広報推進監の配置とともに、年間を通じて各課の事業や先駆的な取組等を動画で撮影・編集・投稿し、公式YouTube内で様々なつくばの魅力を発信した結果、今年度YouTubeのチャンネル登録者数が約1.5倍の1,150人に増加した。	
課題	業務	動画による情報発信に力を入れていく一方で、それらのコンテンツを制作するためのマンパワーが不足している。
	組織、予算等	動画撮影等に関する知識や技術を持つ職員の養成が急務となっている。
改善目標	職員向け広報力スキルアップ等事業において、動画を活用して市政情報をわかりやすく伝えるためのセミナーを開催するとともに、動画撮影等に係る知識や技術を習得した職員を育成し、積極的なシティプロモーションを行っていく。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	005 職員向けの広報力スキルアップ等事業						
予算科目	01-020104-11 広報デザイン事業に要する経費			担当部課	市長公室広報戦略課		
市長公約	11-2			係名	広報デザイン係		
戦略プラン	I-4	1	2	職員の広報力の向上	新規・継続	新規	
	I-4	1	3	市のブランドイメージの統一	事業分類	自治事務（任意）	
個別計画						事業体制	職員のみ
						事業期間	毎年度
根拠法令等						SDGs	16平和と公正をすべての人に

事業の概要

対象	職員
目的	職員一人ひとりが市民の求めている「知りたい」情報の把握や対象に合わせた広報媒体の選択を行い、「伝わる」広報内容の作成等の広報力を向上させるとともに、市のブランドイメージの向上を図る。
概要 (取組内容)	職員向け広報力向上セミナー等の実施、チラシデザイン等のチェック作業の実施など

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	111	12	12	12	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	3,474	3,490	3,490	3,490	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.50	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	職員向け広報力向上セミナーの受講者数（延べ人数）					（ 人 ）	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
	目標値	0.0	150.0	300.0	450.0	600.0	750.0	
	実績	133.0	118.0	284.0	0.0	0.0	0.0	
指標の概要	受講者数 年間150人(2020年度～2024年度 合計750人)（個別施策 I-4-①市民目線の効果的な広報の推進 指標 3）							

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の広報力向上のため、各課が実施する全てのプレスリリースに対し文章の校正等に関するアドバイスをを行うとともに、職員向けの講習会等を実施した。 ・ ブランドイメージの統一を図るため、各課が作成する広報物等のデザインチェックを実施した。 	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員向けの広報力向上セミナーを実施し、チラシデザインの要点や重要性等をアドバイスした。 ・ 年間340件のチラシデザインチェックを実施し、ブランドイメージの統一を図った。 	
課題	業務	市が行う各事業に関する情報が市民に対し、しっかりと伝わるよう職員一人ひとりのさらなる広報力向上が必要である。
	組織、予算等	各課で個別にチラシ等を制作するため、市全体として統一感のあるデザインにすることが難しいため、引き続きデザインチェックを行い、デザインクオリティの安定化及び質的向上を図り、ブランドイメージを高めていく必要がある。
改善目標	新型コロナウイルス感染症の状況により対面型の広報力向上セミナーの実施が難しい場合があるため、職員一人ひとりの業務形態に合わせて受講が可能となる動画配信型のセミナーの実施など、多様な方法でセミナーを開催することにより全庁的な広報力の底上げを図る。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	006 つくば総合インフォメーションセンター交流サロン管理運営事業					
予算科目	01-020104-13 広聴事業に要する経費			担当部課	市長公室広報戦略課	
市長公約				係名	魅力発信係	
戦略プラン	I-4	2	1	つくばの魅力発信	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	16平和と公正をすべての人に	

事業の概要

対象	市民、来訪者、市に縁のある方
目的	市政情報や知的好奇心を満たす様々なイベント等の情報発信を通して、市内外に対してつくばの魅力を発信し、つくばに愛着を持つ人を増やす。
概要 (取組内容)	チラシやパンフレット、書籍等の配架、PR動画の放映、打合せや待合せ、休憩等で気軽に利用できる場の提供、大学や研究機関と連携したセミナーやイベントの開催など

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	22,764	22,454	2,252	2,252	
	決算額	(千円)	22,272	21,653	21,703	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	12,454	11,835	21,703	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	その他	(千円)	9,818	9,818	0	0	0	
人件費	人件費計	(千円)	7,659	7,550	6,873	6,873	6,873	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.10	1.10	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	80.00	28.50	16.00	16.00	16.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	HPやSNSでの情報発信
企画・立案、計画	
実行	アンケート
評価、検証	

指標の推移

指標名	市公式SNSへの「交流サロンでのイベント・取組等」の投稿数 (回)					活動結果指標	
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	目標値	0.0	35.0	36.0	37.0	38.0	39.0
	実績	34.0	21.0	13.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	当該年度における交流サロン関係の投稿数。直近3年間における来館者数の伸び率である3%を増加目標とする。(R1年度40,265人÷H29年度39,106人=1.02963≒3%)						

2	指標名	当該年度における総来館者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	41,000.0	41,000.0	41,000.0	41,000.0	41,000.0	41,000.0
	実績	40,265.0	10,937.0	15,007.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	当該年度における総来館者数（R1実績では、年間200回程度のイベントを行い、イベントが無い日も座席が満席になるなど、利用率が非常に高いため、維持目標とする）					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルス感染症の影響もある中で、オンラインイベントの開催やストリートピアノの設置など、新しい交流サロンの在り方を示したほか、筑波大学サテライトオフィスに代わって入所した筑波大学事業開発推進室とも連携してスムーズな運営を行ったことにより、利用者への影響を抑えることができた。
成果	新型コロナウイルスの影響がある中でも、大学や研究機関等と連携して催事や展示を行った。ストリートピアノを設置し、つくばセンタービル周辺の賑わい創出に寄与したほか、筑波大学による「東京オリンピック・パラリンピック競技大会筑波大学関係メダリスト」の紹介や、JAXAの協力による日本人宇宙飛行士の活躍についての動画配信やポスター展示などを実施し、それぞれの機運醸成を図ることができた。
課題	<p>業務 新型コロナウイルスによりイベントの開催が難しい状況が続き、利用者数も減っている。情報発信やフリースペースの活用など、これまで行ってきた催しや取組だけではなく、駅前の公共施設として求められる機能を整備する必要が生じている。</p> <p>組織、予算等 つくばセンタービル及びつくばセンター広場においては、時代の変化とともに周辺環境や社会情勢が変化したことで役割が変化している。これに起因して交流サロンに代わり、新たに市民窓口を設置する予定（令和5年度中）。</p>
改善目標	交流サロンが担ってきた情報発信については、センタービルや1F観光案内所等で行うほか、イベントの開催については、BiVi内イベントスペースや共有スペースを活用する。また、アルスホール等、センター地区にある既存の公共施設も有効に活用することで、センター地区一帯の賑わい創出に取り組んでいく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	2	計画から遅れている。（未達成）
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	007 市民目線の広報推進事業					
予算科目	01-020104-11 広報デザイン事業に要する経費			担当部課	市長公室広報戦略課	
市長公約	11-1	11-2		係名	広報デザイン係、魅力発信係	
戦略プラン	I-4	1	1	市民目線の効果的な広報の推進	新規・継続	新規
	I-1	3	1	市政情報等の発信	事業分類	自治事務（任意）
個別計画					事業体制	一部委託
					事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	16平和と公正をすべての人に

事業の概要

対象	市民、来訪者、市に縁のある方、つくば市記者会
目的	市が伝えたい情報をはじめ、市民が求めている「知りたい」情報が確実に届くようにする。
概要 (取組内容)	広報紙（かわら版含む）、市勢ガイド等の編集・発行、市公式HPや市公式SNS等の運用、ケーブルTV等の活用、定例記者会見やプレスリリース等の実施など

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	54,056	67,842	66,947	66,947	
	決算額	(千円)	0	49,095	42,212	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	49,095	42,043	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	169	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	37,636	33,134	33,134	33,134	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	4.50	4.50	4.50	4.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	2,865.00	980.00	980.00	980.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ、SNS掲載
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	HPの問合せ先フォームの活用

指標の推移

1	指標名	広報紙の満足度 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	61.3	0.0	63.6	63.6
	実績	58.9	0.0	59.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	市民意識調査「広報紙による情報発信」の「満足」、「どちらかといえば満足」と回答する人の割合を増やす。					

2	指標名	ホームページ・SNS等による情報発信の満足度 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	41.0	0.0	42.6	42.6
	実績	40.0	0.0	44.4	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	市民意識調査「ホームページ・SNS等による情報発信」の「満足」、「どちらかといえば満足」と回答する人の割合を増やす。					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	市政情報を市内の隅々まで届け、深く市政を知ってもらう手段の一つとして、令和3年度中に市政情報かわら版を6回発行し、区会への全戸配布を行ったほか、つくばエクスプレスの駅やイーアスつくばなどの民間施設、各窓口センターや交流センターなどの公共施設への配架を行った。	
成果	広報紙満足度の向上を図るため、広報つくばでは、感染予防ガイド（保存版）やつくばクラフトライフなどの特集、身近なイベント情報など幅広い情報を掲載し、かわら版では、一つのテーマについてこれまでの経緯や今後の取組などを深く掘り下げた情報発信を行った。合わせてSNS等でかわら版チャンネルなどの動画配信を積極的に進め、地域の隅々の、幅広い年齢層の市民に分かりやすく丁寧な情報発信を行った。	
課題	業務	広報紙について「魅力がない」や「読みづらい」という意見や、ホームページについて「情報が見つけにくい」や「もっと見やすくしてほしい」という意見など、情報発信の充実を望む声がある。
	組織、予算等	情報発信のために必要な新たな予算を確保する。合わせて、専門的な知見に基づき広報紙等をデザインできる任期付職員を令和4年度中に採用する。
改善目標	市民に親しまれる広報紙となるよう写真やイラスト、余白の活用により読みやすさを高めるほか、地域に関する特集を組むなどの取組を進める。また、かわら版の発行回数増加やかわら版チャンネルをはじめとする動画活用、市ホームページのリニューアルなどを実施し、情報発信に対する市民満足度向上を図る。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充	
理由	市民からもう少し踏み込んだ情報情報が欲しいといった広報の充実を望む意見があることから、更なる情報発信の強化が必要である。また、サーバーのリース契約終了に伴い、市ホームページの運営管理を行う上で顕在化している問題を改善するため、リニューアルを実施する。	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	013 移住・定住促進事業					
予算科目	01-020104-12 魅力発信事業に要する経費				担当部課	市長公室広報戦略課
市長公約	84				係名	魅力発信係
戦略プラン	I-4	2	1	つくばの魅力発信	新規・継続	継続
	I-4	2	4	つくば市への移住促進	事業分類	自治事務（任意）
個別計画					事業体制	一部委託
					事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	16平和と公正をすべての人に

事業の概要

対象	来訪者、市に縁のある方
目的	周辺地域へ目を向けてもらうための取組みを行い、人口が減少傾向にある周辺地域へ人の流れを作り出し、移住定住の促進を図る。
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内関係各課等と連携し、地域活性化協議会の取組等、地域に密着した活動を市公式HPや公式SNSを用いて発信。 ・周辺地域で移住希望者向けイベントを実施し、その様子をSNS等を用いて発信。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	9,716	6,758	6,495	6,495	
	決算額	(千円)	0	3,700	6,262	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	3,205	1,565	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	495	4,697	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	10,531	7,115	7,420	7,420	7,420	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.40	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	420.00	128.00	241.00	241.00	241.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	SNSへの「地域活性化協議会等が行うイベントや取組等」の投稿数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	56.0	58.0	60.0	62.0	64.0
	実績	54.0	72.0	56.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	当該年度における市公式SNSへの投稿数。H30年度からR1年度における市公式SNSへの投稿数の増加率1%を踏まえ、毎年約3%増を目標とする。(R1年度591件÷H30年度587件=1.0068≒1%)						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルス感染症の影響により、周辺市街地でのイベントの多くが中止となるなど、当初の想定よりイベントが開催されなかったことや、関係各課等との連携をより密に行うことで効率的にイベント情報等を収集したため、限られた人員で対応することができた。	
成果	市が提案する新しいライフスタイル「クラフトライフ」を紹介する冊子「つくばスタイルCRAFT」を市内外の協力施設等や広報つくば等に掲載するなど、クラフトライフの魅力を広く発信した。また、周辺地域に人の流れを生み出すための取組として、地域の魅力をSNS等で発信することで、クラフトライフに興味を持っている方が、つくばでの新たな暮らしがイメージしやすくなるような情報を発信することができた。	
課題	業務	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺地域への人の流れをつくるため、地域活性化協議会等との関係づくりを継続して行う必要がある。 ・移住希望者と地域のマッチングに係るキーパーソンのさらなる発掘が必要である。
	組織、予算等	新型コロナウイルス感染症の影響によりテレワーク移住希望者が増加傾向にあるため、現在の移住支援制度の要件の再考が必要である。
改善目標	周辺地域への人の流れをつくるため、引き続き周辺地域と移住希望者を繋ぐキーパーソンとなる人材を発掘し、サポート体制の構築を進める。また、クラフトライフの推進のため、クラフトライフ希望者に必要な支援が届くよう現在の移住支援制度の要件を変更する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	-